

指定管理者選定委員会が町長へ報告書を提出

11月27日、周防大島町サン・スポーツランド片添等指定管理者選定委員会（河村誠治委員長・山口大学経済学部教授）は、周防大島町サン・スポーツランド片添等（周防大島町サン・スポーツランド片添、周防大島町片添ヶ浜温泉遊湯ランド、周防大島町青少年旅行村）の指定管理者の選定に係る報告書を椎木町長に提出しました。

町では、12月議会で優先交渉権者の議決を受け、施設の指定管理者に指定することとしています。

◆問い合わせ 商工観光課 公共施設管理班
☎0820(79)1003



11月27日、河村誠治委員長（中央）から、椎木町長へ報告書が提出されました。

これまでの活動として、8月に中国地方では初となる「親子で楽しめるけん玉キャンプ F A T C A M P（ファットキャンプ）」を開催し、島外からけん玉好きの方が集まり、地元船具店さんから釣りの講習を受けるなど、周防大島の夏を満喫できる2泊3日のイベントを陸奥野営場にて企画しました。

現在はレンタサイクル利用者促進に向けてのモデルコースを起案しております。それに伴い自転車で見るとはまた違った光景を全身で体感する

5月より地域おこし協力隊として家族三人でドイツより移住してきました、新井謙太郎です。任期は2021年までとなりますが、任期中は久賀にある一般社団法人周防大島観光協会にてスポーツ・アウトドアイベント企画に携わっております。

地域おこし協力隊員 新井謙太郎の
しましまタイムズ
SHIMASHIMA TIMES

2

周防大島町定住促進協議会
☎0820(74)1007



ことができるので、改めて周防大島の自然が好きになりました。今後も周防大島の自然を活かしたイベントを企画していきたいと思っております。

また、先の貨物船衝突による断水で多くの方が日々の給水活動で大変ご苦労されたのではと思います。特に水洗トイレでの水の使用量は生活用水の中でも上位であったと思います。そこで呉市の民間ボランティア団体より非常・携帯用のトイレを支給して頂いたの、それを一人でも多くの方に配布出来るようにとの思いで島の有志の方々と共に活動も致しました。予期せぬ人災による被害で島民の多くの方が今一度防災に対して考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

※地域おこし協力隊とは
都市地域の若者が地方自治体の募集に応じて委嘱を受け、一定期間、地域に居住して地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組みです。隊員の活動に要する経費などは特別交付税措置されています。



▲FAT CAMP（ファットキャンプ）に参加した皆さん